

令和6年度 長崎市立長崎中学校 平和宣言文

1945年8月9日、午前11時2分

79年前の今日、一発の原子爆弾により長崎の街が姿を変えました。同時にたくさんの人の尊い命が犠牲になり、被爆者の何もかも奪われてしまいました。

今の日本、そして長崎は平和で安心して暮らせる街です。しかし、被爆者の方々は、79年間、さまざまな困難に苦しめられてきました。今もなお、後遺症と闘い、心にも、一生癒えることのない大きな傷を負っています。

被爆者の高齢化が進む中、私たちが、被爆者の声に耳を傾け、平和学習を通して身につけた知識、被爆者の思いを、語り継いでいかななくてはなりません。

私たち長崎市民は、原子爆弾の被害が計り知れないことを身に染みて理解しています。しかし、世界では核兵器で他国を威そうとする動きがあり、恐ろしくて仕方ありません。もし、核兵器が使われたならば、対抗して、核兵器が使われるかもしれません。それが続けば何が起こるかはすぐ想像できます。人類の破滅です。核兵器は、人類と地球に対する最大の脅威であり、その存在を許してはいけません。

だから私たちは、核兵器の恐怖をしっかりと理解し、核兵器のない世界を実現するために、より一層具体的に行動しなければなりません。

私たちの日常を見ると、家族や仲間と一緒に食事をしたり、学校で友達と学んだり、遊んだりしています。しかし一方で、友達に暴力をふるったり、無視したり、暴言を吐いたりすることがありませんか。また、SNSにおける数多くの誹謗中傷は、社会問題となっています。自分は軽い気持ちで、悪気がなくても、相手を深く傷つけていることがあります。相手のことも考え、行動することが真の意味での平和になっていくと思うのです。

以上のことを踏まえ、私たち長崎中学校生徒一同は、私たちが平和で毎日の生活がより笑顔で過ごせるように、次の3点が大切であると考え、ここに宣言します。

【理解】 平和であるとは何か、戦争・核兵器の悲惨さとは何か、より一層の理解を深めます。

【感謝】 今こうして平和に暮らせていることは当たり前ではないことを自覚し、感謝の気持ちを忘れず1日1日を大切に過ごします。

【行動】 平和で毎日の生活がより笑顔で過ごせるように、相手のことも考えた行動をします。

この三つのことを胸に刻み、平和で毎日の生活がより笑顔で過ごせる世の中を私たちの手で作っていくことをここに誓います。

令和6年8月9日

長崎市立長崎中学校 生徒一同

